

## 平成23年 第1回 島原市行政評価委員会

日時 平成24年1月30日（月）13時30分～

場所 有明総合文化会館 視聴覚室、研修室

1. 委員出席数 委員9名中 9名出席

### 2. 市長公室長挨拶（概要）

- 本委員会は、今回から新たに3名の委員の方をお願いをし、9名の委員で外部評価をお願いしたい。
- 本市の財政事情も大変厳しい状況である。  
平成19年度から事務事業評価を実施し、平成21年度から学識経験者の皆様による行政評価委員会を設置させていただいたところである。
- 平成21、22年度の2年間で事務事業評価制度、市単独補助金について、市民の視点に立った客観的な評価を行っていただいております、感謝を申し上げます。
- 事務事業評価につきましては、平成22年度から企画部門から財政部門へ所管を移して、評価の結果がより効率的に予算に反映できるよう体制の見直しを行ったところである。また、平成22年度に行っていただいた、市の単独補助金においても、平成24年度の新年度予算に見直しの結果を反映すべく予算の編成作業を続けているところである。
- 今回は、これまでの制度全般についての評価から一步踏み込み、市の主要事業の中から7つの事業を抽出し、9名の委員を2つのグループに分かれて外部評価を行っていただきたい。
- 内部にいると見えない部分が多々ある。そういう視点からご意見をいただき、今後の効果的、効率的な制度にしていきたいと思っている。

### 3. 議 事

委員長

委員皆様方には、それぞれの分野における皆様のご経験等を活かしながら、島原市にとってよりよい提言ができればと思っています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

委員長

議事に入る前に、改めて「公開」について、皆様にお諮りしたい。本委員会設置要綱第一条の設置目的に鑑み、会議については、原則「公開」、委員会の議事録または審議の概要は公表する。ただし、委員名は、匿名とする。原則、このような扱いでよろしいか。

各委員

(異議無しの声)

委員長

それでは、本委員会の「公開」については、会議は「原則公開」、会議の議事録、または審議の概要については公表する。

ただし、委員の氏名は匿名とする。ということで進めさせてもらう。

委員長

それでは、議事に入りたい。まず「主要事業の事務事業評価」について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局

(資料により説明)

- ・行政評価委員会からの提言（H21、H22）に対する市の取組状況
- ・外部評価対象事業一覧
- ・行政評価委員会グループ分け（案）
- ・評価実施要領、スケジュール

委員長

只今の説明について、何か質問はないか。

ないようならば、この後の日程について事務局から説明をお願いしたい。

事務局

それでは、先程ご承認いただいた、それぞれのグループに別れて、ご審議をお願いしたい。

#### 4. 外部評価

(Aグループ)

##### ① (空き店舗対策事業)

座 長 それでは、「空き店舗対策事業」の説明をお願いしたい。

産業政策 G 「空き店舗対策事業」の説明

座 長 今の説明に対して何か意見はないか。

委 員 以前も空き店舗対策事業を実施したと思うが。

産業政策 G 平成7・8年度～平成12・13年度に補助事業の商店街魅力アップ事業を実施した。商店街組合が事業主体となりソフト事業を行ったが、直接補助は今回の事業が初めて。

委 員 結局商店街は補助してもイベント行って補助が切れたら終わり。家賃補助も同様である。商店街はやる気がない。通行量ももっとこれから減ってくると思う。

座 長 事業を行っていて、これをやれば将来展望が開けるといえるものがあるのか、例えば集約化を図るなど。それとも自然死するしかない。ロードサイド店もあるし、中心市街地だからといって守らなくてもよいという発想もあるのではないか。

委 員 補助事業のコンセプトが曖昧である。鯉の泳ぐ街から島原城まで散歩コースになる。それを活かすためには駐車場整備が必要となる。観光客も健康志向であり、ゆっくり歩いて買物をする。しかし、土産物屋がない。

委 員 事業毎に見てみるとそれなりに単年度の成果は上がっている。しかし、将来どこまでやるのか全く見えない、中長期的な視野が必要。果たしてこの事業を5年間実施した場合に、結果として以前の商店街の賑わいが戻る

のか考えづらい。いつまでにどのような状態にもっていくという目標が必要。

委員 市の全体像があって個々の事業があると思う。単発では効果がない。例えば湯布院は、皆同じ目標に向かって10年ほどかけてあのような街になった。単発だったら浸透しない。

座長 中心市街地の活性化策についてこれまで議論されたことはあるのか。

産業政策 G これまでに多々なされている。

座長 例えば国の補助などでチトセピアなどの再開発や大村では駅前の再開発事業など、ある程度ビジョンを持ってやっている。展望なき延命策をやっているような気がする。

経営管理 G 指標の空き店舗数は、確かに減っているが、実際は空き店舗だったところが空き地になっているところが増えているのが現状である。また、アーケードの延長が長く、もっとコンパクトな中心市街地が必要であり、集中的な投資をやるべきと二次評価している。

座長 市の方で中心市街地をどうしようという議論を本格的に行っているのか。

委員 本年2月にアーケードの中心部にある一番街のエレナが撤退する。今後、解体の方向であると聞いており、跡地利用で民間の動きがある。

座長 なかなか民間だけだと進まない。行政が入って国の補助金等の活用が必要になる。そのあたり市はどう考えているか。

産業政策 G 民間の動きに対してまだ具体的なプランはない。具体的な計画が出てくれば国等の補助メニューの活用の検討やなければ市単独補助などの検討がある。

委員 敷地広さは約3000坪ほどある。西側の市道までいれると約6000坪ではないか。

産業政策 G 中心市街地活性化は住環境や公共交通の整備、公共機関のあり方など多  
種の要素や課題の集まりである。まちづくり全体から考える大きな議論が  
必要である。

座 長 その大きな議論というものは進んでいるのか。それがないまま進んでい  
るような気がする。

委 員 空き店舗はやる人がいなくてなったわけではなく、なるべくしてなってい  
る。全体の中でこれというものを考えなければならない。

座 長 大きい議論は置いておいて、実際この事業で空き店舗に入っている人は  
どのような状況なのか。

産業政策 G それぞれであり、継続して営業されている方もいれば、補助期間が過ぎ  
たら閉店した人もいる。

座 長 経営指導等を行っているか。

産業政策 G 経営中は職員が出向いて色々な話は行っているが、商工会議所の職員と  
一緒に経営指導を行ってはいない。入店前の審査を商店街代表者や経営指  
導員等と一緒に審査を行っている。

座 長 成功事例、失敗事例の分析を行う必要があるのではないか。  
目標の指標に、通行量は適さない。この事業で通行量が増えるとは考えづ  
らい。観光客を取り込むなど、どういう商店街づくりをするか決めたいう  
えで、そういうものに重点的な支援を行っていくようなことが良いのでは。  
今のままでは、広く薄く撒いているような気がする。

委 員 何件空き店舗に入って、現在何店舗継続しているのか。

産業政策 G 4 件のうち3件が継続している。

座 長 総合評価で事業費の拡大となっているが、例えば来年1年休んで、今後  
どうするのか全体像を描いてみてはどうか。

商店街をどう作り変えるか、皆さんで冷静に考えてみてはどうか。

産業政策 G 行政側がどうこうというよりも、商店街の方々がどう考えているか気にしているところ。商店街自身が振り返ることはありだと考える。

座 長 人口が5万人切る状態で、中心商店街をどうするか計画がないままで、展望がないままで局地戦をやっているような気がする。

委 員 24年度は継続事業でも良いが、商店街の方々と議論を行って欲しい。単年度ごとにやっても意味がなく進歩しない。

座 長 エレナの閉店をチャンスととらえて、将来を考えてはどうか。だいたい状況はわかったのでこれで終わりにする。

## ②（大会・会議等誘致奨励金）

座 長 それでは、「大会・会議等誘致奨励金」の説明をお願いしたい。

産業政策 G 「大会・会議等誘致奨励金」の説明

座 長 効果として、2万、3万の補助金目的で島原に来ているのか。出さなくても島原に来るのではないか。

委 員 金額は大小かかわらず引き続きやるべきと考える。アリーナがメインになるかと思うが人工芝サッカー場もできるし、より一層の集客が必要になる。

委 員 他地域はどうか。

観光シオ G 長崎市は50名～99名で5万円、平戸市は2万5千円。100名～199名は長崎市、佐世保、大村市、諫早市は10万円、平戸市は5万円。

座 長 例えば、お金ではなく、農産物直売所の割引券をあげるとか、知恵を使ってはどうか。

委 員 これだけ県外からの集客がある中で、特産品などを活用して県外の人にPRするような全体的な仕組みを作ってはどうか。

委 員 島原城の入場券なども。

座 長 温泉などお金を使わない方法はある。  
市で勧誘活動は行っていないのか。

観光ジオ G コンベンションのセミナーや合同の誘致活動を行っている。

座 長 実際の効果に結びつくような勧誘が必要。民間の場合ではあの手この手で勧誘を行う。お礼の手紙を送ったり、幹事に特産品を贈るなど。

委 員 補助金や施設に関するアンケートは実施していないのか。

観光ジオ G 実施していない。

座 長 どういうものを欲しているのか。どういう施設が必要かなど。悪い点を指摘してもらおう方が改善につながる。

座 長 スポーツ施設も整っており島原にあっていと思う。本制度の運用をもう少しまく行ってほしい。

### ③（島原健康半島構想推進事業）

座 長 それでは、「島原健康半島構想推進事業」の説明をお願いしたい。

産業政策 G 「島原健康半島構想推進事業」の説明

座 長 売ることを考えずに作るパターンが多い。

産業政策 G 健康志向は高いが、ヒット商品をいかに作るかが課題。協議会としても業者と交渉しており製品化までは行くが、なかなか商品化までは至っていない。

座 長 商品化できなければ意味がない。うまくいっていない理由がわからないと次に進まないのでは。

産業政策 G ステップアップとしては、業者へ訪問し相談を行ったりしているが、市全域として薬草を広めていくという必要がある。

委 員 薬草会との違いは。動きがわからない。

産業政策 G 薬草会ではなく協議会で活動している。例えば、昨年開催された長崎スイーツフェスタに薬草関連商品を出展しPR普及を行った。また、昨年11月17日から1週間、しまばら湧水館で薬草関連商品の販売等のイベント行い、観光客を含め1800名来場いただいた。アンケート結果によるとイベントの継続など意見も多かった。

座 長 こういう努力の継続で果たしてどんどん売れるのか。

委 員 ガマダスプロジェクトとの絡みは。

産業政策 G 昨年長崎がんばらんばの制度でき、23年度に島原半島のシオ関連と併せたところの薬食育の商品開発・販売を目的にプロモート協議会が発足した。今後2年間で商品開発がされていくということで健康半島構想協議会も連携して取組を進めていきたい。

座 長 どういう関係で取組がなされるのか。

産業政策 G 例えば従来健康半島構想で取り組んでいた栽培や薬草の効能に係る講習会や講座の開催などを長崎大学薬学部や崇城大学の薬学部の先生方を講師に迎えてプロモート協議会の方で主管される。現在そのような役割分担の調整を図っている。



座 長 商品化・販売はどちらが担うのか。

産業政策 G プロモート協議会の中に会社組織が立ち上がっているの、そういったところでやることになる。協議会の中に色々な業種の方が参画している。協議会としては、今までの成果を踏まえ一部商品化を図りながらプロモート協議会と連携して取り組んでいきたい。

座 長 二つ目的があり、一つは商品化、もう一つは薬膳料理であるが、どのような状況か。基本的にはホテルで出すしかないが。

産業政策 G 過去4回ほど料理専門家や一般の人に募集してコンテストを行った。一定の料理は出てきたが、料理店の1～2店舗で出すという状況。ホテルで提供するまでは至らなかった。

委 員 なぜそこまでいかなかったか。コンセプトはいいと思うが。どういうものを作っているのかなどHPを開いてみても情報が見当たらない。

座 長 関東では薬膳料理で成功しているホテルは多い。なぜ、島原のホテルでやらないのか理解できない。商品化は難しいが、料理の提供はうまくいきそうだし、波及効果があり高齢者などを中心にお客をホテルに呼び込むことができると思う。何がネックか。できない原因を調べる必要がある、解決しないと前には進まない。

委 員 薬膳料理は全体の中の一品でも良いと思う。

座 長 例えば、バス旅行会社と連携してツアーを組むなどして、旅行会社に補助金を出すなどしてはどうか。

委 員 ガマダスプロジェクトでの薬草関係の2年間の取組はどのようなものか。

産業政策 G プロモート協議会では、23年度は栽培研修講座、栽培に向けての土壌の準備、薬草関連の料理の開発、現在島原城で1月27日にデモ店舗の運営を行っている。24年度以降は薬草栽培の本格化、料理の開発を予定している。

座 長 販売することや人を呼び込む企画がないような気がする。

産業政策 G プロモート協議会の中で、長崎大学との連携で効能の分析やSNSを活用したPR、長崎大学生協での販売などの取組がなされる予定。

委 員 商品の中でこれだというもの売り出すことなども必要ではないか。農業高校のスープ生姜麺みたいに。宣伝が足りない。

座 長 売るところの努力が足りない。作っても作っても先に行かない。島原にはじげもん市などはないのか。長崎・佐世保・雲仙市が福岡に出店しているキトラスなど具体的なアクションが必要では。

座 長 予算の200万円の使途は何か。開発費か。

産業政策 G 薬草栽培に係る管理等の経費や製品開発の材料費、イベント開催費等に充てている。

座 長 何年にいくら売るとかなど目標設定が必要。効能分析してもあまり意味がない。大量に作付しても中国にはかなわない。一番可能性があるのは薬膳料理でホテルに人を呼び込むことではないか。料理で勝負するしかないのでは。

#### ④（島原市特産品創出事業）

座 長 それでは、「島原市特産品創出事業」の説明をお願いしたい。

産業政策 G 「島原市特産品創出事業」の説明

座 長 実際どのよな支援を行っているのか。また成果は。

物流 G 商談に係る旅費や経費等を助成している。定番化するような話は聞いているが把握はしていない。

座 長 受賞後のフォローはどういったことを行っているのか。

物流G 市が各種物産展に参加し重点的にPRを図っている。成果としては、物産展を通じ商談の結果、定番化した商品もある。また、他の商品では関東圏内の大手ホテルで取り扱いやANAの機内食での取扱につながっている。

座 長 多少前に進んでいる気がする。成果指標が商品開発ばかり書いてあるが、最終目標は販路拡大では。

物流G 市でも全体としての販売目標金額を設定して物産展等の参加など事業を行っている。この事業は来年度で4年目となるが、出展事業所数も減ってきているので、例えば梅にちなんだものや、生姜などに限定した商品開発なども検討していきたい。

座 長 100万円出していないからでは。

委 員 例えば、安中梅林は昨年からかなりの梅の実が生っている。土地の所有者や管理者の問題もあるが、なんとか利用出来るように何らかの事業と絡めて検討して欲しい。

座 長 受賞後のフォローが問題であるが、商品がバラバラであるので物産展等で販売するしかないのか。

委 員 受賞商品の売れ行きはどうか。

物流G 比較は難しいが、売れ筋ナンバーワンではないが、売れているとは聞いている。各店舗のレイアウトなど協力できる部分は協力している。

委 員 100万ではなく、例えば30万円に引き下げるなどしてやってみてはどうか。

経営管理G 予算のヒアリングのなかでも、あまりにもハードルが高いのではないかとの意見も出された。

座 長 例えば賞金を20万円ほどにして、販売支援の方へ回したらどうか。物産協会への入会金などに充てるなど。また、コンサルタントに販売戦略を立ててもらふ経費など。

委 員 ホームページ作成経費は補助の対象となるのか。

物流G 要綱等には明確な記載はないが、当初は想定していない。

座 長 受賞者と個別相談して支援していく方法はどうか。物によって売り方が違うと思う。

物流G アドバイサー派遣費にも窓口を広げているが、実情はまだ利用されていない。

座 長 この事業の目的は、商品開発の支援ではなく、特産費を作って島原の名をあげることであるので、受賞後にどう販売するかが必要である。

委 員 既に受賞した商品でもいいので、販売を補助しても良いのでは。

座 長 パッケージ等も重要。販売に重点を置く。

#### ※Aグループ（まとめ）

##### ①「空き店舗等活用促進事業」⇒『事業規模の縮小』

- ・空き店舗については、長期展望をどうするかが課題。
- ・方向が定まらない。全体感をもつこと。

##### ②「大会・会議等誘致奨励金」⇒『継続』

- ・単に大会に補助金を出すのではなく誘致に力を入れること。

##### ③「島原健康半島構想推進事業」⇒『事業内容の改善』

- ・商品化を売れるものに絞り込む。
- ・可能性がある薬膳料理に力を入れる。

- ・平成 25 年までに売れるものを 1 つか 2 つ作る。それが出来なければ抜本的に考え直す。

④「島原市特産品創出事業」⇒『『事業内容の改善』

- ・売る方向に力を入れること。
- ・店のためじゃない、島原のためにやる事業。
- ・100 万円を見直す（20 万、30 万）
- ・販路拡大を目指すこと。

(B グループ)

⑤（町内会・自治会運営費補助金等各種団体補助金）

座 長 それでは、「町内会・自治会運営費補助金等各種団体補助金」の説明をお願いしたい。

政策企画 G 「町内会・自治会運営費補助金等各種団体補助金」の説明

座 長 ただいまの説明について、何か質疑はないか。

委 員 町内会の加入率は。

政策企画 G 平成 23 年度は 76.3% である。

委 員 自治会ごとの世帯数は。

政策企画 G 旧島原地区は、多いところで 200 世帯、少ないところで 10 世帯。  
有明地区は、多いところで 170 世帯、少ないところで 40 世帯弱。

委 員 補助金算定の世帯数は、町内会加入の世帯数なのか、全世帯数なのか。

政策企画 G 加入世帯数である。

委員 町内会・自治会の収入支出状況の大まかなイメージが3パターンあるが、それぞれのパターンの分布はどうなっているのか。

政策企画 G 役員手当を支出しているところが120、金額で一番多いのが573,000円となっている。平均は出していない。

座長 次回委員会までに大まかな分布を教えてください。  
決算書の記載方法がそれぞれ違う理由は。

政策企画 G 毎年5月の各地区の総会の時に、大まかな記入例については説明しているが、町内会・自治会ごとに表現の仕方が違っている。

委員 各町内会・自治会は会費・事業内容も違うので、一概に比較をするのはどうかと思う。中心部は加入率が低い、会費は主な収入源なので、加入促進が大きな課題ではないか。

座長 手当の額だけ事業内容が見えればいいのか。

委員 事業内容がそれぞれ違うと思うが、事業費としての支出が多ければ、役員手当まではないと思う。運営費から事業費へという趣旨からすれば、基本的に事業活動をしているところという考え方はあると思うが、事業費が多いところに多く出すとなれば、その判定をしないといけないので、やはり補助金の算定方法としては、現在のようなやり方をしないといけないと思う。

委員 合併後、補助金の調整もうまくいっている。補助としては、今のまま残した方がいいと思う。

座長 なくす方向にはいかないと思うが、中味の問題だと思う。

委員 決算書の書式は、バラバラなのか。標準的なものは渡しているのか。

政策企画 G 標準の書式は渡している。

委 員 標準的な書式に役員手当の欄はあるのか。

政策企画 G 標準的な書式に欄は設けていない。

委 員 会費の取り方、金額もそれぞれ違う、役員手当に補助金が入っている、入っていないというのは全体を見ないと分からないので、一概に役員手当が多いからといって判断は出来ない。

政策企画 G 明らかに会費を越えて、役員手当を支出しているのは1団体である。そこは補助金が充当されていると思う。

座 長 他に質疑はないか。

#### ⑥（島原市自主文化事業）

座 長 それでは次の「島原市自主文化事業」の説明をお願いしたい。

文スポ G 「島原市自主文化事業」の説明

座 長 ただいまの説明について、何か質疑はないか。

委 員 入場料の額の設定の仕方はどうしているのか。  
入場料と入場者数の相関性を把握しているのか。

文スポ G 入場料の設定については、「今までの例による」というのがほとんどである。他の施設の営業時の入場料の1/2を基本とし、部内で検討。安いから入場者が多いわけではない。どういう人を選ぶのかがポイント。

委 員 その他の財源が入場料なのか。

文スポ G そのとおりである。

委員 成果指数の21年度（56%）と22年度（100%）の差の理由は。

文スポG 指標の数値を設定したのが22年度である。

委員 選び方が慎重になったのか。

文スポG 選定に気をつけないと来場してもらえないところがある。

委員 従事職員数が1.5となっているがどういうことか。

文スポG 1公演当たり3か月で計算している。

委員 子ども向け公演を無料にする理由は。

文スポG 一度有料にした時、入場券が全く売れず、途中で無料にして券売した分を返金した経緯がある。料金設定が3,000円以下でないと券売が難しい現状がある。しかし有名なアーティストは5,000円でも券売出来る。

経営管理G （2次評価について説明）

あくまでも有料化というのは、ほかの自主事業と同じ料金体制ではなくて、夏場の空調を使用するのでその実費相当額で、1人100円でも200円でも徴収した方がいいのではないかという判断で記載した。

委員 子ども向け公演の無料にした場合の入場者数は。

文スポG 整理券は1,400名分出しているが、入場者数は7～8割。

座長 文化事業は評価が難しいが非常に大事なことである。この事業とまわりの他の事業との連携や戦略的な文化事業が展開されて、その中でこの事業が位置付けられたかどうか。

文スポG 吹奏楽部とか合唱団との共演や子供達とのワークショップなどを開催している。

座長 九州の市町村の中には、無理して続けて行く必要はないと判断されると



ころが増えてきている。そういう中で、今後この事業が市民の人づくりに生かされるためにはそのような展開があった方がいいのではないか。

委員 市民のニーズの把握の仕方についての見解は。  
アンケートの実施は。

文スポ G 懇談会の開催で、ヒントはもらえる。  
アンケートの実施もしたが、内容に偏りが見られた。

委員 事業費の削減がみられるが、この事業で大丈夫なのか。

文スポ G この予算の中で事業の選定をすることになる。

経営管理 G 20年度までは、教育文化振興基金を取り崩して充当していたケースがあり、21年度から取り崩しを辞め、予算から減額した。

座長 他に質疑はないか。

#### ⑦（島原市中学生海外派遣事業）

座長 それでは次の「島原市中学生海外派遣事業（国際親善交流事業）」の説明をお願いしたい。

学校教育 G 「島原市中学生海外派遣事業（国際親善交流事業）」の説明

委員 選考基準があるのか。  
各学校で校内選考をしているのか、あるいは、自主申し込みなのか。  
選考から漏れた生徒の不満があるのか。

学校教育 G 選考基準はある。学校での生活態度についても情報提供をいただきながら選考している。選考漏れの苦情はない。

委員 上海航路を活用を考えているのか。  
格安航空券等の活用も考えているのか。

学校教育G これから検討中していく。

委員 県の補助がいつまで続くのか。

学校教育G 平成24年度までの確認はとれているが、その後はまだ分からない。

委員 長崎市、平戸市は中国との姉妹都市提携を行っている。島原市も姉妹都市提携をし、その学校との交流を考えていいのではないか。

委員 大変いい事業であるので推進して欲しい。費用面での工夫をし、人数の確保も行ってはどうか。

座長 事業に参加した生徒で語学・歴史に興味を持ち、もっと勉強したいという子供達の受け皿はあるのか。

学校教育G 公民館の語学講座がある。

座長 他になければ終わりたい。

#### ※Bグループ（まとめ）

⑤「町内会・自治会運営費補助金等各種団体補助金」⇒『継続』『事務改善』

- ・決算（実績）報告様式の統一化（透明性の確保）
- ・ある程度自主性は尊重すべきだが、経費の内容（手当等）に留意し、本来の目的のために使われるよう促すべき。
- ・加入率の向上や、自主財源の確保に向けた取り組みも必要。
- ・町内会自治会活動の実態を把握し、市としての考え方を整理する必要。
- ・分野や地域が町内会・自治会と重複する団体向け補助金の資金の流れについて留意。
- ・運営費から事業費への移行を。

- 地域としての取り組みを促進する工夫を。
- 第2回委員会時に、手当や公民館経費の状況が分かる資料の提示を。

⑥「島原市自主文化事業」⇒『継続』

- ニーズの把握の努力、工夫を。
- 人づくりの視点を忘れずリンクさせること。
- 質の向上を。
- 他の施策との連携（成果重視）
- こども向け講演は、有料化しても参加者が見込めるような魅力あるものに。

⑦「国際親善交流事業」⇒『拡大』

- 参加者数の増をお願いしたいが、コスト面には留意を。
- 国際交流によって意識の高まった生徒の受け皿の準備を。
- 国際交流の推進に賛成。
- 姉妹都市締結も視野に。
- 上海航路や格安航空の活用などの検討を。
- 国際交流全体の充実を図って欲しい。